

テーマ	防災情報の提供
-----	---------

事業分野	情報技術、防災
------	---------

CCTV 等の画像情報提供システムの構築

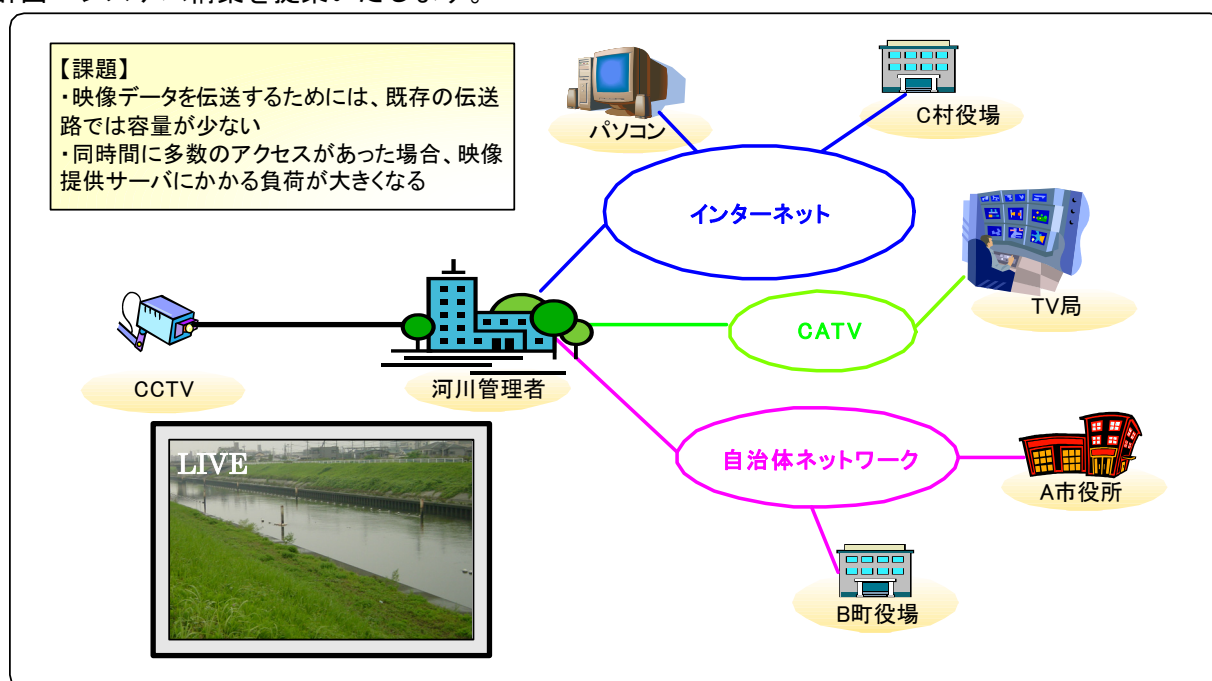
目的

減災や防災に役立つ情報コンテンツ配信の実現を目的として、従来の電話やFAXといったメディアで提供される情報に加えて、CCTV等の高品位な画像情報を住民、自治体や報道機関等に提供する方法を検討します。

内容

CCTV等の画像情報は文字や図面情報とは異なり、危険性や氾濫等の被害状況をより直接的かつリアルタイムに把握することが可能です。これらの画像情報を関係市町村へ提供することで、的確なタイミングでの避難勧告等の発令や被害状況の判断につながり、より効果的な防災活動が可能となります。

しかしながらこれまで、防災情報のネットワークインフラは情報量の少ないデータ伝送を主体としており、情報量が多い画像情報等を伝送するには必ずしも十分な容量を有していないのが実情と想定されます。そのため現状の伝送路の状況を十分に踏まえ、それぞれの整備状況に応じた映像の配信方法の最適な計画・システム構築を提案いたします。



日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

技術ポイント

(1) 映像という迫力あるコンテンツの整備検討

住民に危険な状態を理解させて、行動（避難）に移すための迫力ある生映像コンテンツを整備します。

(2) 映像の配信方式の検討

映像を配信する場合、多くの伝送容量を必要とすることから、既存の通信網では飽和してしまうことが考えられます。一方で新規に通信網を整備するにはコスト面等の理由から困難であるといったことが想定されます。このような実情に応じて、リアルタイム性を確保しながらコスト面に配慮した高品位なデータを配信する最適な方式（画像の圧縮方式、配信方法（簡易 Web カメラなど））をご提案いたします。

(3) 映像の伝送方式の検討

映像を関係市町村に配信する場合、サーバに直接情報を集積し、これを参照していただくことが考えられますが、この場合多数のアクセスがあると想定されます。このとき、画像を集積しているサーバは多くの負荷がかかることとなります。そこで負荷を分散させ安定した画像の提供を可能にするため、負荷の軽減を考慮した伝送方式をご提案いたします。

(4) システム構成の検討

新規に配信する機能を追加するにあたっては、既存の防災情報を配信するシステムを見直し、映像の集約から蓄積、配信までを行う全体のシステム構成をご提案いたします。

事業の流れ[当社の実施範囲]

映像の配信方式から伝送方式の検討、それらをとりとめてシステム構成の検討を行い、画像情報を提供する全体システムを構築いたします。

映像コンテンツの整備 検討	<ul style="list-style-type: none"> 必要なコンテンツの内容検討 配信先の設定 コンテンツ整備方法の検討 基本機能検討
映像配信方式の検討	<ul style="list-style-type: none"> 関係市町村との既存ネットワーク構成の調査・整理 既存ネットワークへの最新技術の適用性検討 映像の配信方式の設定
映像伝送方式の検討	<ul style="list-style-type: none"> 最新の負荷分担技術の動向調査・整理 既存ネットワークへの適用性検討 映像の配信方式の設定
システム構成の検討	<ul style="list-style-type: none"> 関係市町村への既存提供ツールの調査・整理 既存の防災情報配信システムの調査・整理 最適な提供ツールの選定 システム構成の検討

当社の実績

- H15 河川管理用 CCTV の活用に関する調査業務（国土技術政策総合研究所）
- H16 利根川情報提供検討業務（利根川上流河川事務所）
- H16 中央防災無線網整備等詳細設計業務（内閣府）